

2016年5月

**グランドプリンスホテル京都
京都北山丸太生産協同組合との協働により
地元洛北の特産品 北山杉のオブジェを設置**

グランドプリンスホテル京都(所在地:京都府京都市左京区宝ヶ池、総支配人:廣瀬康則)では、2016年3月より**地元洛北の特産品の北山杉を使ったオブジェを、当ホテル地下2階の宴会場プリンスホール前に設置**いたしました。このオブジェは、**京都市の後援のもと、京都北山丸太生産協同組合、デザイナーの松田容子氏とのコラボレーションによって制作されました。**今回のオブジェは樹齢40年ほどの北山杉を使用し、村野藤吾設計の当ホテルの円形のデザインに合わせてドーナツ型の北山杉を並べ、プリンスホールとB2ロビーとの視覚的なセパレートを行っており、ご宴会などでご来館の際にご覧いただけます。当ホテルでは、地元洛北の素材である北山杉を広くアピールするため、このようなオブジェを設置いたしました。今後もさまざまな形で地域社会の発展に貢献してまいります。



〈北山杉〉

「京都府の木」であり、京都洛北の北山地方で育成されている杉です。和室の床柱などで見ることが出来る表面に凸凹のある柱に、北山杉の丸太が多く使用されています。この凸凹(絞り)は、自然に出来たもので、表面を砂で磨くことによって美しい光沢が現れます。現在では、人工的に凸凹(絞り)を付ける技術も確立されていますが、グランドプリンスホテル京都に設置した北山杉は天然の絞りのものです。ぐり抜いていない丸太の中心部分は、若木の時に順調に生育した部分で、年輪の幅が広いのは、枝をそのままにして育成した事を意味しています。その後、木材の表面に節を作らないようにするために枝を払い、これにより成長が遅くなつて年輪が密になり、品質の高い北山丸太になります。またオブジェの下の装飾にも、北山杉の小丸太を短く切つて使用いたしました。

◎本件に関する報道各位からのお問合せは

グランドプリンスホテル京都 マーケティング戦略

TEL:075-712-1150 FAX:075-712-4848 URL:www.princehotels.co.jp/kyoto